



第17回世界湖沼会議～いばらき霞ヶ浦2018～に向けて

霞ヶ浦のこれからについて 考えてみませんか？

問 生活環境課(霞ヶ浦庁舎)



霞ヶ浦南小学校の児童との水環境調査

水はすべての生命の基礎であり、人々の営みにも多大な恩恵を与えてきました。霞ヶ浦も例外ではなく、漁業をはじめ農業や産業、そして私たちの生活にも霞ヶ浦の水が使われており、その存在は私たちの生活の中心となっているといっても過言ではありません。

茨城県では、「水質汚濁防止法」に基づき排水基準を定める条例において霞ヶ浦流域の水質に関して、全窒素・全リンの項目を日本一厳しい排水基準に設定しているほか、霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画を策定し、泳げる霞ヶ浦を目指してさまざまな事業を展開しています。



霞ヶ浦と
人とのつながり

霞ヶ浦の未来に向けて 豊かな自然環境を守っていく



「帆引き船フェスタ2018 with 世界湖沼会議」での模型作り教室



市内の子どもたち
環境学習を行っています

市内の小中学校では、総合的な学習の中で霞ヶ浦の水環境をはじめとした環境問題について学習を行っています。今年度は霞ヶ浦南小学校の4年生と一緒に霞ヶ浦流入河川の水質調査や霞ヶ浦に住む生き物の調査を行い、身近な環境を調べることでみんなの霞ヶ浦を守るために自分に何ができるかを学習しています。

また、サテライト事業として、市内の小中学生を対象に帆引き船の模型作り教室を開催しており、その中で霞ヶ浦の歴史について学習しています。完成した模型はシンポジウム会場に子どもたちの霞ヶ浦への想いとともに展示を予定しています。

帆引き船講演会 & 帆引き船シンポジウムを開催！

9月16日(日)に世界湖沼会議のサテライト事業として「帆引き船講演会&帆引き船シンポジウム」を開催します。

市内の小中学生による学生発表をはじめ、「帆引き船と霞ヶ浦の魚食文化をテーマとした基調講演や事例発表、パネルディスカッションなどを行います。

また、同シンポジウムでパネラーにもなっているネトクッキングスクールの監修による、霞ヶ浦の魚を使った料理の試食会も予定しています。

シンポジウムに参加して霞ヶ浦のこれか

らについて一緒に考えてみませんか？多くの方のご参加をお待ちしています。

また、関連事業として歴史博物館で特別展を開催するほか、土浦市、行方市と当市の3市で「七色帆引き船」の操業も予定しています。各事業の詳細、申込方法などについては、市ホームページをご覧ください。

世界湖沼会議かすみがうらサテライト
実行委員会事務局(生活環境課内)
029-897-1111

帆引き船講演会 & 帆引き船シンポジウム

開催日：9月16日(日)
会場：農村環境改善センター
参加受付：8月1日(水)～24日(金)までにお電話
でお申し込みください。(定員200人)

| | |
|--------|--|
| 12:00～ | 受付開始 |
| 12:30～ | 開会式 |
| 13:00～ | 学生発表 ①「霞ヶ浦のためにできること」 霞ヶ浦南小学校4年生 ②「ワカサギ孵化事業から学んだ事」 霞ヶ浦北小学校6年生 ③「霞ヶ浦とジオパーク」 下稻吉中学校郷土科学部 |
| 13:50～ | 試食会～新たな魚食の可能性～ |
| 14:10～ | 基調講演 「霞ヶ浦の恵みと魚食文化」 講師：筑波学院大学 教授 古家 晴美 |
| 15:20～ | 事例発表 ①「霞ヶ浦漁業と水産加工の現状」 株式会社安部 代表取締役 安部 知明 ②「霞ヶ浦の川魚料理の可能性」 ネトクッキングスクール 主宰 根本 悦子 ③「琵琶湖八珍と川魚食再興」 滋賀県農政水産部水産課水産振興係 主査 関 慎介 ④「長良川の鵜飼いと鮎」 岐阜市立歴史博物館 学芸員 大塚 清史 |
| 16:10～ | パネルディスカッション 【コーディネーター】 かすみがうら市立歴史博物館 千葉 隆司 【パネラー】事例発表者4人 |
| 17:00～ | 閉会式 |

※発表内容は変更になる可能性があります。

サテライトつちうら事業

霞ヶ浦環境科学センター夏まつり2018のお知らせ

茨城県霞ヶ浦環境科学センターでは、霞ヶ浦水質浄化強調月間(7月16日(日)から9月1日(日)まで)のメインイベントとして、「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり2018」を下記のとおり開催します。

霞ヶ浦や環境問題について楽しく学べるさまざまな催しを用意して皆様のご来場をお待ちしています。

- ▼日時 8月25日(日) 午前10時から午後3時半まで
- ▼会場 茨城県霞ヶ浦環境科学センター(土浦市沖宿町1853番地)
- ▼内容 各種体験教室(実験・体験・工作など)、環境団体などデモンストラクション(水質浄化・ごみ分別など)、研究室の一般公開、飲食・物産販売など
- ▼入場料 無料



9月1日(土)は「霞ヶ浦の日」

霞ヶ浦は、昭和40年代後半になると流域における人口の増加や社会経済活動の進展などに伴い、急速に富栄養化による水質汚濁が進み、アオコの大量発生や魚の大量死が起きました。

このため、茨城県では霞ヶ浦の富栄養化を防止し、環境の保全を図ることを目的として「茨城県霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例」が昭和57年(1982)9月1日に施行されました。これを受け、翌年には同条例の施行1周年を記念して、9月1日を「霞ヶ浦の日」と決めました。

◆各事業の詳細内容などについては、市ホームページでご確認いただけますのでご覧ください。



◆この事業は、公益財団法人河川財団基金の助成を受けています。

